

老年病態と看護

[講義] 第2学年 後期 必修 1単位

《担当者名》○若濱 奈々子 nwakahama@hoku-iryo-u.ac.jp 山田 律子 内ヶ島 伸也 船橋 久美子 會田 英紀 (歯)

【概要】

高齢者の生理的老化と病的老化をふまえて、老年期に特徴的な疾患の病態生理・診断基準・治療および生活機能への影響について学んだ上で、健康障害・生活障害をもつ高齢者のアセスメントとケアについて考えることができる。

【学修目標】

1. 老年期に起こりやすい疾患の病態生理・診断基準・治療および生活機能への影響について説明できる。
2. 健康障害や生活障害をもつ高齢者への看護に必要なアセスメントとケアについて説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	中枢神経系疾患の病態と看護	脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）、高血圧・低血圧の病態・診断基準・治療とケア	若濱
2	中枢神経系疾患の病態と看護	パーキンソン病・パーキンソン症候群、進行性核上性麻痺の病態・診断基準・治療とケア	若濱
3	認知症の病態	アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症：病態・診断基準・治療	山田
4	認知症看護	アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症：アセスメントとケア	山田
5	循環器・代謝系疾患の病態と看護	心不全、糖尿病の病態・診断基準・治療とケア	若濱
6	呼吸器系疾患の病態と看護	慢性閉塞性肺炎、誤嚥性肺炎の病態とケア	内ヶ島
7	腎泌尿器系疾患の病態と看護	腎不全の病態・診断基準・治療とケア（浮腫，脱水を含む）	若濱
8	皮膚疾患の病態と看護	老人性皮膚掻痒症、白癬、スキン-ケア、褥瘡の病態とケア	土屋隼人（特別講師）・若濱
9	感染症の病態と看護	疥癬、带状疱疹、ノロウイルス、インフルエンザ、COVID-19の病態とケア	若濱
10	摂食嚥下障害の病態と看護	摂食嚥下障害、低栄養の病態とケア	山田
11	顎口腔系疾患の病態と看護	口腔機能低下症の病態とケア	會田・若濱
12	運動器系疾患の病態と看護	骨粗鬆症、骨折（高齢者に多い骨折の特徴を含む）の病態とケア（転倒転落の予防ケアを含む）	船橋
13	各徴候・症候の病態と看護	痛み・倦怠感・せん妄の病態とケア	船橋
14	言語障害の病態と看護	失語症、構音障害の病態とケア	内ヶ島
15	薬物療法と看護	高齢者の薬物動態の特徴、高齢者の服薬管理支援（polypharmacyを含む）	内ヶ島

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業後の確認テスト30%，定期試験70%

【教科書】

山田律子・内ヶ島伸也（編）「生活機能からみた老年看護過程」第4版 医学書院, 2020.

北川公子他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第10版 医学書院, 2025.

【備考】

- 1) 教科書は2年前期（老年看護学）で使用した「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」を使用する。
- 2) 開講日が一部変則になることがあるため、受講に際しては授業開始日に配付される日程表を参考にする。

3) 授業の出席確認やフィードバックシート(質疑・意見等)は、Google Formsを活用する。

【学修の準備】

- 1) 2年前期に履修した「老年看護学」の教科書と講義資料を用いて復習しておくこと。
- 2) 毎回の講義前に、授業内容に対応する教科書をあらかじめ読んでおくこと(予習30分)。
- 3) 配付資料はファイルにまとめ、いつでも活用できるように授業に携帯すること。
- 4) 毎回の講義時に配付された資料と教科書等を使い、確認テストで要点を整理し、指定された期日までに提出すること(復習30分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

若濱奈々子(看護師)、山田律子(看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)、内ヶ島伸也(看護師)、船橋久美子(老人看護専門看護師)、會田英紀(歯科医師)、土屋隼人(皮膚・排泄ケア認定看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

老年看護の実務経験に基づき、老年看護の展開に必要な老年期に多い疾患や症候・障害の病態について教育する。特に口腔機能低下症は高齢者歯科を専門とする歯科医師が、皮膚疾患に関しては皮膚・排泄ケア認定看護師がそれぞれ講義を担当する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している